
約束の果て...

YUPPY

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

約束の果て…

【Nコード】

N0668D

【作者名】

YUPPY

【あらすじ】

彼「ヒロ」と知り合ったのは友達からの紹介だった。始めはメルだけの付き合いだったが同じ学校でクラスが隣だと知りたまに会っては話したりして徐々にメル友から友達になり恋愛感情に発展していった。

第1話：告白（前書き）

彼と出会って1ヶ月が経ち私は決心した。

今日は彼に

「好き」って気持ちを伝えようと…

あの優しい笑顔と優しい話し方…

私はそこに惹かれてしまったのだ。

決してカッコイイとは言えないけどとにかく可愛い。

毎日あの優しい微笑みを見たいと思った。

私は朝彼に

「放課後学校校門前で待っていてくれる？」とメールを送った。

彼の返事は

「大丈夫だよ！！でもいきなりどうしたの？」ってきた。

私は

「ただ一緒に帰りたいだけだよ！！」って送った。

彼が喜んでくれた。

私は朝から緊張して授業中も彼のことがばかりで全然授業に集中出来なかった…

やっと放課後になり心臓バクバクさせながら校門に向かった

そこには私より先に彼がいた。

彼は友達と一緒にいた

私はなかなか彼のところに向かうことが出来なかった。

でも彼は私が近くにいることに気付き手を振ってくれた。

彼の友達も私に気付き帰っていった。

友達がいなくなりやっと彼のところに向かった。

彼は

「一緒に帰るの初めてだから緊張するな」と照れ笑いだした。

私は

「そおだね…」と静かに言った。

彼は

「元氣ないけど何かあったの？」って話してきた。

私は緊張し過ぎてその場から逃げたかった…

でもそこで逃げたら気持ち伝えぬまま微妙な関係で終わってしまうから頑張って伝えた。

「実はね初めてあなたと出会ってあなたの優しい微笑みと優しい話し方に心が揺れたの。」

日が経つにつれ好きって気持ちが膨らんできてあなたと付き合いたいなああって感じたの。

あなたは私のこととお思っているかは私には分からないけど私は貴方のことが大好きなんです。

よかったです付き合ってくださいませんか…」って…

第1話：告白

彼と出会って1ヶ月が経ち私は決心した。

今日は彼に

「好き」って気持ちを伝えようと…

あの優しい笑顔と優しい話し方…

私はそこに惹かれてしまったのだ。

決してカッコイイとは言えないけどとにかく可愛い。

毎日あの優しい微笑みを見たいと思った。

私は朝彼に

「放課後学校校門前で待っていてくれる？」とメールを送った。

彼の返事は

「大丈夫だよ！！でもいきなりどうしたの？」ってきた。

私は

「ただ一緒に帰りたいだけだよ！！」って送った。

彼が喜んでくれた。

私は朝から緊張して授業中も彼のことがばかりで全然授業に集中出来なかった…

やっと放課後になり心臓バクバクさせながら校門に向かった

そこには私より先に彼がいた。

彼は友達と一緒にいた

私はなかなか彼のところに向かうことが出来なかった。

でも彼は私が近くにいることに気付き手を振ってくれた。

彼の友達も私に気付き帰っていった。

友達がいなくなりやっと彼のところに向かった。

彼は

「一緒に帰るの初めてだから緊張するな」と照れ笑いだした。

私は

「そおだね…」と静かに言った。

彼は

「元氣ないけど何かあったの？」って話してきた。

私は緊張し過ぎてその場から逃げたかった…

でもそこで逃げたら気持ち伝えぬまま微妙な関係で終わってしまうから頑張って伝えた。

「実はね初めてあなたと出会ってあなたの優しい微笑みと優しい話し方に心が揺れたの。」

日が経つにつれ好きって気持ちが膨らんできてあなたと付き合いたいなああって感じたの。

あなたは私のこととお思っているかは私には分からないけど私は貴方のことが大好きなんです。

よかったです付き合ってくださいませんか…」って…

第2話：結果

彼の返事は

「実は俺もユリのこと好きだったんだ。

俺もユリの笑顔素敵だし優しく話して癒されるんだ。

俺も気持ち伝えたかったんだけどなかなか伝えらんなくて…」

私は凄く嬉しくて改めて

「こんな私だけど付き合ってくださいませんか？」と聞いた。

彼は

「もちろん！！

よろしくね。俺の彼女としね。」

私は嬉しくて涙が止まらなかった。

彼は優しく頭をなでくれた。

私はこの人となら上手いくと実感した。

数分後やっと涙が止まり彼が

「やっと涙止まったね。こんな俺を好きになってくれてありがとな。

もお暗くなってきたし帰ろうか」って。

私は

「うん！！

帰ろっか！！」って元気に言った。

自転車を押しながら歩いて帰っていった。

このときはお互い恥ずかしくて会話は弾まなく黙ったまんまだった。

学校から私の家まで歩いて50分あるケド何も話さず着いてしまっ

た。

彼は

「明日も一緒に帰ろうな。

明日はたくさん話しそあな。

家着いたらメールするから。

じゃ、また明日な！！」って言って帰っていった。

家に着いてしばらく経ってから彼からメールがきた。

「今日は嬉しかったよ。」

これからユリの彼氏としてしっかりしなきゃな!!

ユリもこれから俺のことヒロって呼んでな!!」って。

私はこれからヒロの彼女としてヒロをずっとずっと愛したいと思う。

私はヒロが大好きだ!!

毎日一緒にいたい。

毎日顔見て話したい。

心からそう思った。

第3話：デート

今日はヒロと初デート！！

昨日は楽しみと緊張で一睡もしていない。

あゝあ！！

楽しみ〜！！

後1時間後にはヒロが迎えに来てくれる！！

てかなに着てこうかなあ！！

ヒロはどんな服が好みなのかなあ？？

こんな服は好きなのかなあ？？

とかいろいろ考えながら服を探して私の1番お気に入りのワンピースを着てみた。

軽く化粧もして準備万端！！

あとは彼が来るのを待つのみ…。

心臓バクバク…

気持ち落ち着かない…

そしてしばらくしてヒロから

「今玄関前にいるからね」とメールが来た！！

ヤバイ！！

ますます緊張してきたあ！！

ドキドキバクバク…！！

でも緊張を隠しながら玄関の扉を開け元気よく

「おっはよー！！」って言った。

ヒロはビックリした顔で

「今日はテンション高いなあ！！」って言うてきた。

私は

「そりや当たり前じゃん！！

デートなんて初めてだもん！！」って強く言った。

ヒロはあの優しい笑顔を見せてくれた。

今日のデートは前々から約束してたカラオケ！！

お互いカラオケ好きってこともあったからすぐデート先は決まった。近くのカラオケ店に着きどっちから歌うかで軽くもめた。

ジャンケンで私が負けたから私が先に歌うはめに…

私は大塚愛のプラネタリウムを選曲した。

また心臓バクバクしてきたあ…

でも頑張って歌った！！

曲が終わってヒロからの一言は

「歌うまいじゃん！！」

うまくてビックリした！！」だって！！

私それ聞いたときめっちゃ嬉しかった！！

照れちゃったケドね！！

「次ヒロの番だよ！！」

早く聞かせて！！」

ヒロは一生懸命曲を探してた。

そしてやっと入れた曲がスピッツのチェリー。

私の大好きな曲だ。

曲が流れ始め初めてヒロの歌声を聞いた。

声が透き通っていて優しい歌声だった。

サビに入ったとき私の顔を見て歌ってくれた。

私は感動して泣きそうになった。

私の為に一生懸命歌ってくれた。

歌も上手くて鳥肌がたった。

ヒロは

「下手くそだったろ？」

下手くそな歌聞かせてごめんなあ。」って言ってきたけど私は全然

下手なんて感じなかった。

寧ろその逆だよ！！

「上手いから！！」

マジ上手くて感動したかんね！！」って伝えたら優しく

「ありがとう」って言うてくれた。

カラオケに5時間居てずっと歌い続けた。

「もお暗くなってきたからそろそろ帰らない？」って聞いてみたら
ヒロは

「だね。今日は早目に帰ろうね。」と素直に聞いてくれた。

今日は凄く楽しい1日だった。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連「横書き」という考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、たんのう堪能してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n0668d/>

約束の果て...

2010年11月4日13時16分発行